

2019

大阪維新の会

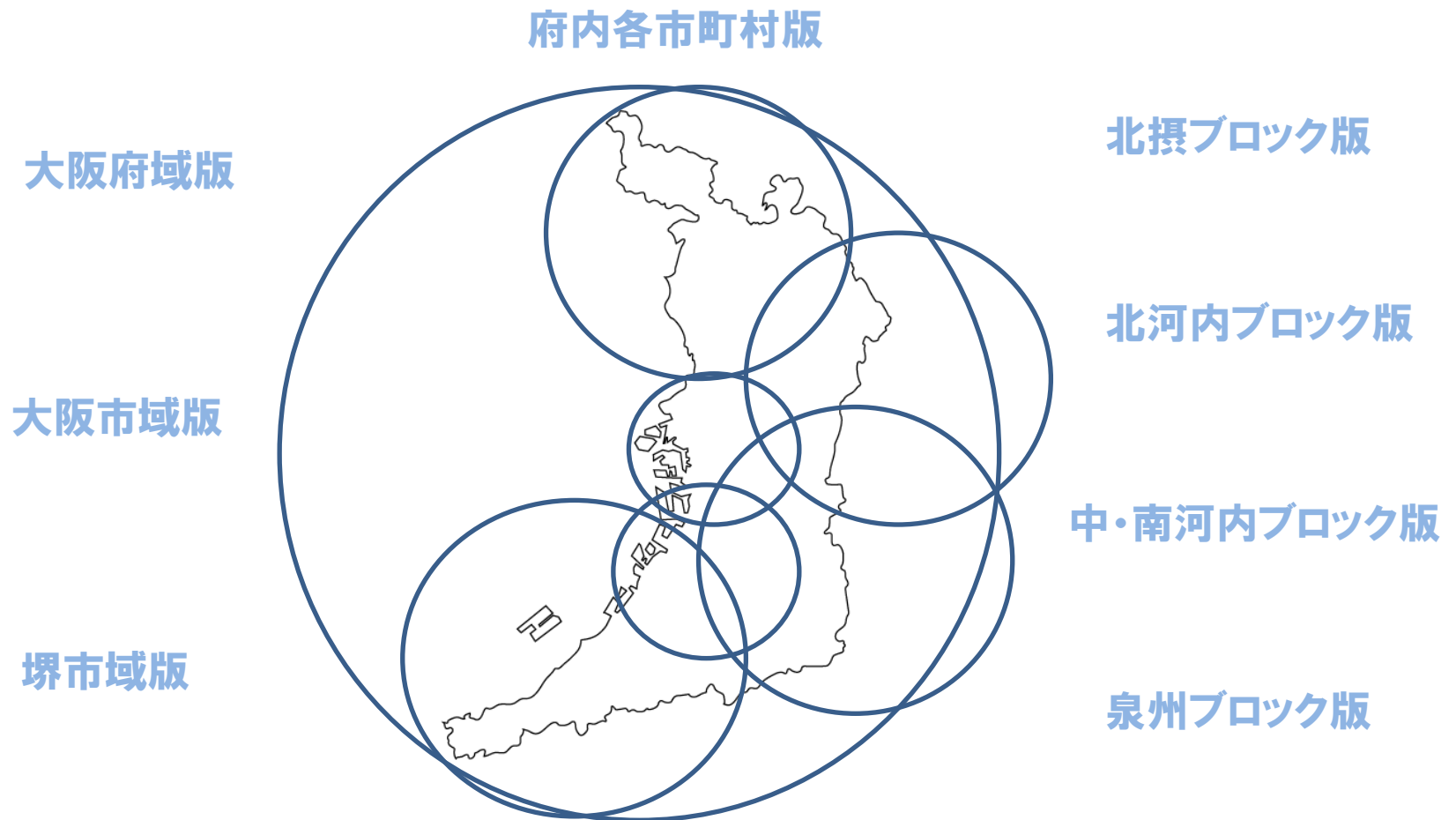
東大阪市マニフェスト

Manifesto



大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項 目	具体的施策	現状・課題認識
議員定数の削減	議員定数削減条例案提出し議会での決定を目指す 東大阪では2割削減を目指す	身を切る改革 経費削減 よりスムーズな議会運営
政務活動費を廃止	政務活動費月額15万円 市議団合計年間1260万円を市の財源へ 自費にて政務活動を	①政務活動費の不適切な支出刑事告訴。 ②不起訴にはなったが起訴猶予の事案があり未解決。 ③全改選時の公約。
環境問題の改善	(1)廃棄物対策、公害規制、自然環境保全、野生動植物保護、有害鳥獣などを自治体からできることを実施。 (2)地球温暖化、オゾン層保護、リサイクル、化学物質、海洋汚染防止、森林・緑地・河川。湖沼の保全、環境影響評価、放射性物質の監視測定などの対策。 (3)環境基本計画などを通じ環境政策を積極的に東大阪市からリードしています。	今日の環境問題は、国民の日常生活や通常の事業活動から生ずる過大な環境負荷が原因となっており、その解決には、大量生産・大量消費・大量廃棄型の現代社会の在り方そのものを持続可能なものへと変革していかなければなりません。
大阪モノレールの延伸	近鉄大阪線までの延伸	上級官庁の協力と税源が必要

項 目	具体的施策	現状・課題認識
学力向上	放課後授業として、学習塾と連携し子どもたちの学習、スポーツの支援策を構築する。	東大阪市の低い学力と待機児童が多い傾向にある留守家庭事業を融合し子ども放課後教育を高めるために学習塾との連携を深め、学校ではできない発展的な学びの機会を学習塾が担い、学力向上促進を目指す。 文科省は今年11月を目処に学校教育法施行規則の改正を行い、これまで以上に土曜授業への取り組みをし易くするとともに、質の高い土曜授業実施のための支援策や地域における学習やスポーツ、体験活動など様々な活動の促進のための支援策を講じる事により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日授業の実現を目指す。
議会基本条例	条例の制定。	地方公共団体の自己決定権と責任の範囲の拡大に伴い、住民代表機関としての議会は、その役割を再確認し、その機能をさらに充実強化することが必要。
観光振興	国から交付金を使った施策を中南河内地区全体で、総合的に行うようにする。 例として、東大阪市では現在、観光振興のコンセプトとして住んでよし訪れてよし稼いでよし、を謳い、観光振興取り組み内容としては、モノづくりのまち、ラグビーのまち、数多くの文化資源や商店街を有するまち、として観光振興を行っている。	大阪はインバウンドが大幅増ではあるが、中南河内地区において未だに観光客が増加していません、誘致の施策がしっかりと行われているとはいえない。

項 目

スポーツを通じた
まちづくり・レガ
シー

- ①【2019ラグビー】・
【ウィルチェアー】
- ②【2020東京オリパ
ラ・ピヨンド】
- ③【2021 ワールドマス
ターズ】
- ④【2022～マスタース
花園】
- ⑤花園公園事業

具体的施策

①大会誘致から運営に至るノ
ウハウのすべてを将来に引き
継ぐ。

ウィルチェアースポーツを
通じて、共生社会の実現に向
けた啓発を進める。

②スポーツを通じて東大阪市
の文化的魅力のPRを行う。

③大会の認知度向上を参加者
の獲得。

④マスタース世代へのPR。

⑤にぎわい創出。

現状・課題認識

①ラグビーワールドカップ2019の大会成功と
レガシー構築

ウィルチェアースポーツの推進

②オリパラの機運を関東にとどめることなく地
方へも派生させる

③大会認知度の向上から大会成功とレガシー構
築

④聖地花園を将来にわたり盛り上げていく大会
創設

⑤花園ラグビー場を含み、花園中央公園の一体
管理手法の検討